

られる家庭において、主的に学習させることが目的ですから、家庭においては、自分のお子様の学年の発達段階を考えまして、次のようなことにご注意ください。

① 一日の生活表を作らせる。
きまりのよい生活をさせることができ何よりたいせつのことです。
そのためにきょう一日どのような暮らし方をしようかという計画をしてさせて下さい。そしてそれが実行できたかどうかを見てやつてください。もちろん計画表を見てやつていただき

昭和年32度水稻品種別作付面積

	昭和32年度		昭和31年度	
	作付面積	比率	作付面積	比率
早生種	11.757反	56%	11.223反	53%
中生種	6.458	31	7.964	38
晚生種	2.813	13	1.813	9
計	21.028	100	21.000	100

2. 県奨励品種作付状況

	昭和 32 年度		昭和 31 年度	
	作付面積	比率	作付面積	比率
獎勵品種	{ 稗 - 16,712 反	80%	16,621 反	79%
	{ 糜 - 1,107	5	1,103	5
非獎勵品種	{ 稗 - 2,408	11	2,418	11
	{ 糜 - 801	4	858	5
計	21,028	100	21,000	100

3. 主なる品種別作付状況

昭和32年度		昭和31年度		
品種別	作付面積	品種別	作付面積	
粳 の 部	①新7号	5,634反	①新7号	5,577反
	②越路早生	2,748	③越路早生	2,234
	③万代早生	1,790	③万代早生	1,783
	④新二号	1,341	④新二号	1,361
	⑤やちこがね	802	⑤農林43号	988
	⑥改良愛國	689	⑥やちこがね	970
	⑦越光	582	⑦改良愛國	729
	⑧農林43号	499	⑧農林21号	707
糯 の 部	①越後ねばり	592反	①越後ねばり	519反
	②メ張糯	238	②メ張糯	273
	③糯六号	180	③糯六号	162

パラチオン剤は濃いものはほど危険だからうすめる前の取扱いには特別の注意が必要で、濃い液にふれたときは、十秒をあらそつてよく洗う必要があります。
1 特に乳剤原液を皮膚につけないよう注意し、もしついたら石鹼液でよく洗うこと。そのため原液を取扱うときは、ゴムやビニール製の手袋をはめることがよい。
2 薬剤散布のときに、薬ができるだけ皮膚に直接ふれないよう、風上より散布するとか、マスクまたは手拭などで口をふさぎ、作業衣も長いものを使う。作業中に多少は直接触れることが当然あるが作業が終つたらすぐに身体をよく石鹼で洗う。

パラチオン剤の

取り扱い注意

洗つて、清潔な衣服に着換え、作業衣もよく洗濯して長く繋に触ることのないようにする。

3 煙草や食事は、必ず手を洗い塩水でうがいをしてからにする。

4 空ビンや空袋は危険のないように土中に埋める。

5 薬剤を子供が手にしないように、保管場所に注意すること。(必ず鍵のかかるところにしましよう)

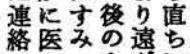
6 妊娠中の女性はとくにこの薬に対する抵抗性が弱つているから作業をしない。

7 内臓とくに肝臓や腎臓の悪い人も同様に作業をしない。外傷のある場合も同じ。

8 人畜の害虫ノミシラミ、ダニなどの駆除の目的には使用しない。

9 敷布中は子供や家畜が近寄らないようにする。

10 先に述べた症状を感じたら直ちに作業をやめて、薬より遠ざかつて安静にしてその後のようすをみると同時に医師に連絡して手当を受ける必要がある。



市消防団では七月十九日午前八時三十分、烈風下火災発生の想定のもとに大演習を行いました。

この演習は、例年行なつてきましたのでありますが、過去の演習方法はポンプ操作法を中心とした小規模な演習でありました。ところが今回の演習は実際の消火活動に近い大演習であつて、その成果も大きかつたわけであります。

他の分団は織物組合前出ビルから堤防までを第一防護線として延焼消火に努めた。一時は衰えたかにみえたが、火勢はふたたびしゆん烈しくなつてきただので第一二三三回はその附近の大建築物への焼阻止に努め、他の分団は布橋附近から土々町、刈谷橋間を第二防護線として延焼阻止に全力を集結した。九時三十分ようやく鎮火。
(以上想定)
上は火元(?)附近
出動人員一一三八名、
消防車二十九台、見附市
写真説明

△ 国家消防本部長 勲一級章
武士俣治郎松 [栃尾]
△ 日本消防協会長 精良章
星野三子治 [栃尾]
原 貞一郎 [栃尾]
△ 新潟県知事並に新潟県消防
協会長 功績章
杉本尚二 [上塩] 星五十
里 [栃尾] 関根清二 [下]

市庁舎は増築ときまる

事業所統計調査結果 総事業所数一、三八七

ついては、その家庭の経済状況によつて一部を負担していくことがあります。その他、こまかいことについては保健婦又は福祉事務所へご相談ください。

烈風下に大火災

空前の大演習実施さる

消防自重車も繋がる。猛煙の中から、猛煙（発煙筒を使用）の消防団として、消防長（皆川市長）のことばに、消防課長補佐の講評、両川県消防課長補佐の講評、知事のあいさつがあつて、表彰状授与、来賓祝辞、消防団長のことば、被表彰者の答辭があり、萬才三唱があつた。

右岡	勤続章	多田 博
平	保科伸一「木山沢」	
五十嵐俊一「小貫」		
▽右岡 永年勤続章（二十五年 以上）勝沼寅蔵外二十三名		
▽右岡 永年勤続章（二十年		

商業事業所数	三一〇
その他	五三三 五四四